（別紙１）　 （すべての様式において本文中の下線部は削除してください。）

（下記の様式を参考にして、ワープロ等でＡ４用紙に作成してください）

履　歴　書

ふりがな

氏名 ：

生年月日 ：

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　写真貼付

（3×4cm程度）　現住所 ：〒

連絡先 ：〒

TEL

FAX

E-mail

学歴（年月・事項の間に適宜空白を入れる）

　高等学校卒業以降の事項で、学位取得を含む。

職歴（年月・事項の間に適宜空白を入れる）

所属学会及び社会における活動等（年月・事項の間に適宜空白を入れる）

賞罰（年月・事項の間に適宜空白を入れる）学会賞を含む

備考

※男女問わず、出産・育児・介護等に従事した期間について考慮することを希望する場合は、履歴書の備考欄に付記してください。

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　上記の通り相違ありません。

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 令和　　年　　月　　日

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　氏名

（別紙２）

学術研究業績集計表

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 全業績 | 最近５年間の業績 | 備考 |
| 学術論文—１ | 編 | 編 |  |
| 学術論文—２ | 編 | 編 |  |
| 著書 | 編 | 編 |  |
| 翻訳 | 編 | 編 |  |
| その他の業績総説研究報告書学会発表その他 | 編編―編 | 編編編編 |  |

学術論文—１（レフェリー付き学会誌）

学術論文—２（レフェリー付き学会誌以外の学術雑誌）

（別紙３）

主要学術研究業績の概要と現在取り組んでいる研究テーマの概要

主要学術研究業績の概要

　　全業績のうち、主要なもの１０編以内を任意に選択し、それぞれの概要を１００字から２００字程度で記述する。

現在取り組んでいる研究テーマの概要

　　　現在取り組んでいる研究テーマの概要を１，０００字から２，０００字程度で

記述する。

（別紙４）

（下記の様式を参考にして、ワープロ等でＡ４用紙に作成してください）

業　績　リ ス ト

 　　　　　令和　　年　　月　　日

 　氏名　　　　　　　　印

Ⅰ 学位論文

1．論文標題

　　取得大学、取得年（西暦）

Ⅱ 学術論文—１（レフェリー付き学会誌）

1．著者（連名の場合は掲載順に）、発行年月（西暦）

　　論文標題、掲載誌、巻（号）：ページ（最初－最後のページ）

2．著者（連名の場合は掲載順に）、発行年月（西暦）

　　論文標題、掲載誌、巻（号）、***論文番号、doi：…***

3．･･･････････････

Ⅲ 学術論文—２（レフェリー付き学会誌以外の学術雑誌）

1．著者（連名の場合は掲載順に）、発行年月（西暦）

　　論文標題、掲載誌、巻（号）：ページ（最初－最後のページ）

2．･･･････････････

3．･･･････････････

Ⅳ　著書

1．著者（連名の場合、記載順に）、発行年月（西暦）

　　書名、出版社

2．･･･････････････

Ⅴ　翻訳

1．著者、訳者（連名の場合、記載順に）、発行年月（西暦）

　　書名、出版社

2．･･･････････････

Ⅵ その他業績

1．総説、研究報告書、最近５年間の学会発表、その他について項目ごとに記入してください。上記のいずれにも該当しない研究業績は「その他」として記載してください。

Ⅶ 外部資金の獲得状況

科学研究費助成事業（研究課題ごとに研究代表者／分担者を明記する）、その他の研究助成金、共同研究、受託研究、奨学寄付金、その他に区分して、研究費等の外部資金獲得状況を研究課題と概算金額とともに記載してください。

○発表年の古いものから順に記載してください。

○単著、共著にかかわらず本人の氏名に下線を付してください。

○Ⅱの学術論文—１（レフェリー付き学会誌）については、コレスポンディングオーサーに該当する場合、氏名に＊（アスタリスク）を付してください。

○Ⅱ・Ⅲの学術論文については、すべての別刷又はその写しを添えてください。

○Ⅳの著書及びⅤの翻訳については、表紙、目次、著者・発行機関・年月の明示されたページ（奥付など）の写し及び100字程度の概要（単著の場合）又は担当箇所の写し（共著の場合）を添えてください。

○Ⅵのその他の業績については、別刷又はその写しを添える必要はありません。

（別紙５）

研究指導実績の概要

学部、修士課程及び博士課程の学生に対して研究指導した論文タイトル（１０件以内）、さらに指導で重視した点を記述する。なお、教育機関以外の公的試験研究機関や民間企業からの応募者については、プロジェクト研究や社内でのチーム研究等の実績（１０件以内）について役割分担も含めて記述する。

（別紙６）

教育活動実績の概要

下記のような教育活動実績について記述する。なお、教育機関以外の公的試験研究機関や民間企業からの応募者については、所属機関以外の教育活動実績を含めて記述する。

・所属する大学学部、大学院における担当授業科目及び担当期間・年数

・非常勤講師としての担当科目及び担当大学・学部

・就職指導の実績として特筆すべき実績、インターンシップの派遣又は受入

・入試問題の作成、点検、採点に関する委員又は担当者として業務

・ティーチングアシスタントとしての活動

・教科書（個人的費用により印刷されたもの等を含む）、教材（コンピュータ・ソフトを含む）の執筆・編集・制作等

・大学及び高等教育機関や学協会における教育に関する講演活動や専門分野の学術経験者としての教育活動（シンポジウムのパネリストやコーディネーター、講演会の講師等）

・教育方法等に関する実践報告書等

・教育に関する表彰の授与（プロフェッサー・オブ・ザ・イヤーや優秀授業表彰等）

・大学及び高等教育機関や学会における教育に関する委員会活動や組織への貢献

（別紙７）

Ⅰ 教育研究業績以外の実績概要

１．社会貢献に関する実績

例えば下記のような活動実績があれば記載する。

無ければ記載省略または今後の抱負の記載等でも可。

・産学連携の活動実績、特許、ベンチャー起業、営利企業役員兼業、ＮＰＯ団体活動

・公的機関における審議会、検討会等の委員など兼業の実績

・高大活動や初等・中等教育機関等との連携活動等

・一般紙（新聞、雑誌等）に掲載された活動実績等

・学協会の委員会活動や学術雑誌の編集委員及び査読委員（査読者）

・専門分野の学術経験者としての社会活動（公開講座、シンポジウムのパネリストやコーディネーター、講演会の講師等）

２．国際連携に関する実績

例えば下記のような活動実績等があれば記載する。

無ければ記載省略または今後の抱負の記載等でも可。

・外国の大学、研究機関との交流実績や外国人研究者との共同研究の実績

・留学生指導の実績

・外務省やＪＩＣＡ、在外法人（企業）などと連携した海外での諸活動

・日本語、英語以外の諸言語の語学の水準

　　・海外研究機関での研究活動等の実績

　　・大学や高等教育機関や学協会における国際会議やシンポジウム等の実行委員等運営に関わる活動

３．大学等の管理運営に関する実績

例えば下記のような活動実績があれば記載する。

無ければ記載省略または今後の抱負の記載等でも可。

・学会等学術団体の役員、評議員、実行委員長等の役職

・所属組織の役員、管理職、委員会委員長等の内部管理業務

・学生指導主任、サークル顧問、運動部監督などの実績

・所属組織での担当職や委員等としての内部管理業務の実績

Ⅱ その他特記事項

例えば下記のような項目で記載を希望するものがあれば記載する。

「特になし」であるなら、その旨を記載する。

・国家資格、免許、指導者資格、認定・認証機関の審査員等の実績

・本人の心身の状況、扶養親族の状況、出産、育児、介護等で配慮を要する状況

・「琉球大学憲章」、「本学、本学部並びに当該学科の３つのポリシー（ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー及びアドミッション・ポリシー）」、「ダイバーシティ推進宣言」等、本学、本学部並びに当該学科の基本方針への意見や所感

・採用希望年月日